

「岡山県酪農・肉用牛生産近代化計画（素案）」に対する
県民意見等の募集結果について

令和7年11月19日から令和7年12月18日までの間、「岡山県酪農・肉用牛生産近代化計画（素案）」について、おかやま県民提案制度（パブリック・コメント）によりご意見を募集したところ、次の1件が寄せられました。

これらのご意見等に対する県の考え方を掲載しておりますのでご覧ください。
貴重なご意見ありがとうございました。

<寄せられたご意見等と県の考え方>

番号	ご意見等	県の考え方
1	<p>【Ⅰ 岡山県における酪農及び肉用牛生産の近代化に関する方針】</p> <p>本計画では、アニマルウェルフェア（AW）は、家畜のストレスや疾病を減少させ、家畜の本来持つ能力を発揮させる取組と記載されている。しかし本来、AWは家畜に快適で健康的な飼育環境を提供するための考え方や行動であり、その実践により生産性が上がる取組もあれば、逆にコスト負担となり生産性が下がる取組もある。</p> <p>本計画におけるAWの推進は、生産性を上げるための取組として推進するものであり、P2に記述のあるカウコンフォートを重視した飼養管理と同じ意味と解釈してよいか。</p>	<p>カウコンフォートは、牛に快適な環境を作り生産性を高めるという考え方であるのに対し、アニマルウェルフェアは、カウコンフォートに加え、苦痛からの解放、病気の予防なども含めた安心で質の良い畜産物を作ろうとする取組のひとつです。</p> <p>県としてもアニマルウェルフェアの考え方に配慮した飼養管理を推進し、カウコンフォートの記述をアニマルウェルフェアに見直すこととします。</p>